



たいくとう。

東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
1:03-3876-1966 Fax:03-3875-596
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:<http://doken-taito.jp>
編集 杉本 郁代

さらなる飛躍を目指して - 卯年にあやかって -

仲間のみなさん、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今年は十二支の第四番目のうさぎ年で、私は年男になります。新年の抱負として、「字」が少しでも上手になることは昨年に引き続き継続し、新たな抱負とて一昨年手術した股関節の回復をゆっくりとあわてずに更に頑張ることです



遠藤顕實さん

仲間のみなさん、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今年は十二支の第四番目のうさぎ年で、私は役員定年で一線からは引きましたが、組合員の一人として、今後も組合活動には、可能な限り参加させていただきます。

年男になります。新年初詣にはここ数年は

役員定年で一線から引きましたが、組合員の一人として、今後も組合活動には、可能な限り参加させていたいと思います。明るいうさだきます。

初詣にはここ数年は、毎年でありますように。

月の14日ではなく、松の内と言われる7月までの内と行します。明るいうさだきます。

あさがね
(女性の会)
では、毎年工
支の人形作り

を行つています。今
も可愛いうさぎの人
ができあがりました
癸卯（みずのとう

にあやかり、勢いよく成長し飛躍するよう年にしたいものですね。

うことだ。私もそろそろ自分に少し贅沢させたいのではと思いつつ、始め、シャンプーと肌クリームを自分としてはちょっと高価なものに変えた。価格は正直にいうか調子が良い。自己満足？大いに結構、それで前向きになれるのだから。明日も明るい気分ですごせますように。



クロスの貼り替え作業中の藤田さん

台東支部には2023年1月1日現在、今年の干支卯（うさぎ）年の組合員さんが107名在籍しています。その卯年の年男、藤田一太郎さん（上野浅草橋分会）にお話をうかがいました。また、同じく年男である遠藤顕寛さんは、力強い決意表明をいただきました。

— 藤田さんのお仕事（職種）と内容を教えてください

内装仕上げ工事です。クロスや床を貼つています。基本的に表具店なので、襖や障子の張り替えもやっています。

— 今のお仕事に就くきっかけは？

私で三代目なので世襲です。物心がついた時には家業を継ぐものだと教え込まれていました（笑）。



税金対策部長でもあります

— 昨年の印象深い出来事や思い出は？

新型コロナに罹患したことです。

— 組合への要望やご意見がありましたら聞かせてください

若い組合員さんが樂しく活躍できる組合にしてください。

※お忙しいところ、
取材にご協力いただき
有難うございました。
やはり健康であること
が第一ですね。若い組
合員さんが活躍でき
る場を作れるようにな
っていきます。

をどこへ投げるかた

木洩れ日

2023年 年頭のご挨拶

書記長



小久保篤さん

あけましておめでとうございます。

昨年はオミクロン株の急拡大によって様々なかつた。年明けでした。2月には北京オリンピックが開かれる一方でロシアによるウクライナ侵攻が開始されるなど、平和に対する意識が高まつ

た年でもありました。コロナ禍で暗い話題が目立つ中、少しずつ日常が戻り、スポーツ界では58年ぶりに日本人ホームラン記録が塗り替えられ、記憶に新しい所ではサッカーワールドカップでの日本代表が雰囲気を明るくしてくれました。

あけましておめでとうございます。

昨年はオミクロン株の急拡大によって様々なかつた。年明けでした。2月には北京オリンピックが開かれる一方でロシアによるウクライナ侵攻が開始されるなど、平和に対する意識が高まつ

た年でもありました。コロナ禍で暗い話題が目立つ中、少しずつ日常が戻り、スポーツ界では58年ぶりに日本人ホームラン記録が塗り替えられ、記憶に新しい所ではサッカーワー

私たちの仕事を取り巻く情勢ではコロナ禍によって制限された流通の停滞、急激な円安、様々な要因によって引き起こされた物価高騰が深刻な影響をもたらしました。建材の値段は30から50%も上がり、資材も半年以上手に入らない。見積りを出しても、翌月に

利益にも反映できる大手と違い、利益に転嫁できない零細企業に対し、追い打ちをかけるように今年は消費税のインボイス制度が始まろうとしています。さらにはコロナ禍で売上が落ちる中、緊急融資を受けていた仲間の返済が始まっています。

部としての体制を見直し、時代に即した運営が求められています。分会や納入の有り方、新しい結集軸の提案など踏み込んだ議論を開いていきます。

2023年、建設業に携わる全ての仲間が開していきます。

